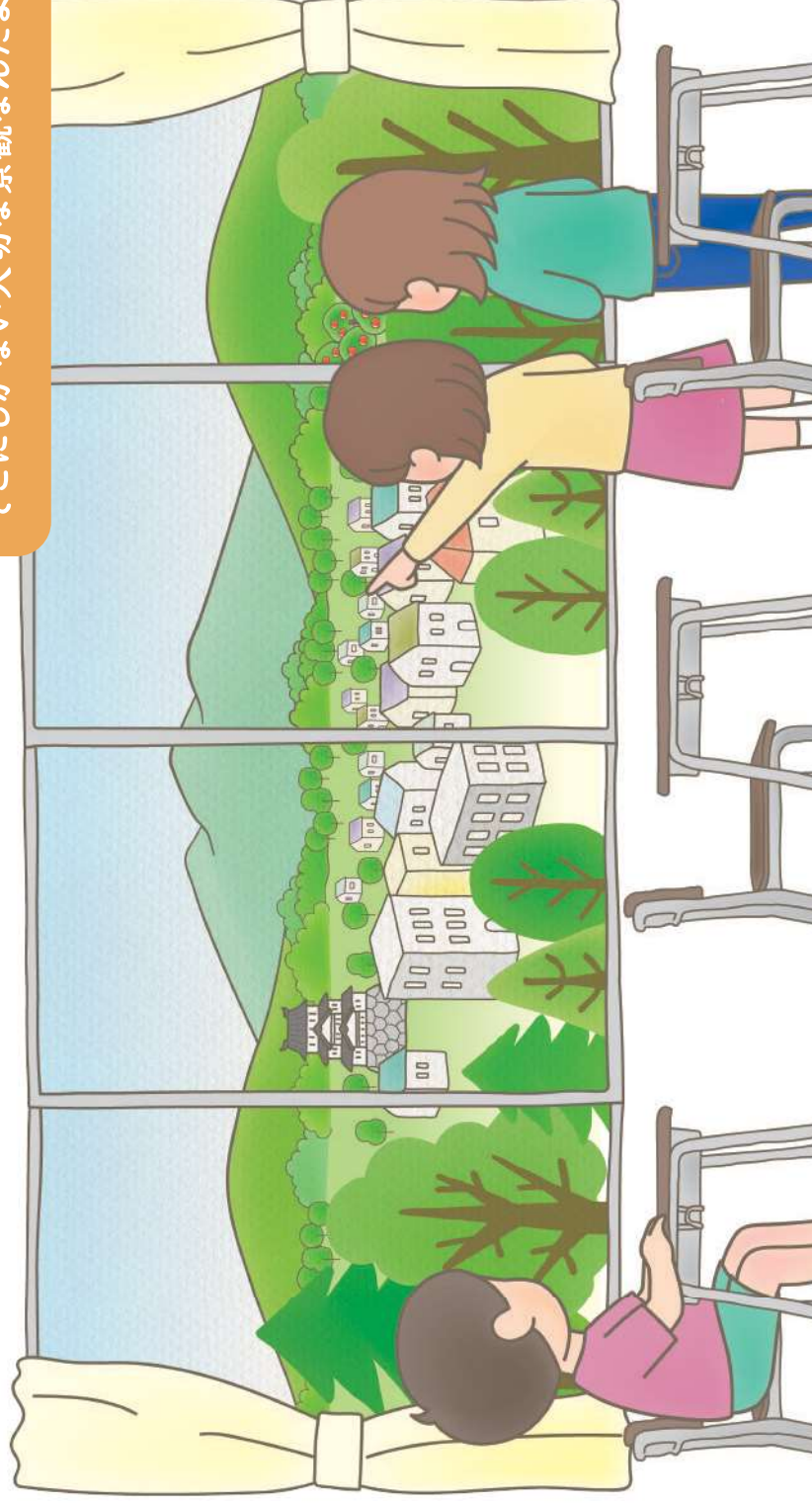
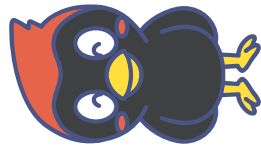


4. 身近な景観を見てみよう

教室から見える景観や
通学路で見る景観も
そこしかない大切な景観なんだよ！



いつも、みんなが過ごしている教室のまどからもさまざまな景観が見えると思います。
校庭のグラウンド、みんなの家やまちなみ、公園や遠くに見える山や空など。飛行機や虹が見えることもあるかもしれません。
景観はどこまでも広がり続いていて、私たちは景観に囲まれて過ごしています。
みんなも学年が上がり教室が変わればまどから見える景観も変わります。
今、教室のまどから見える景観はここしかない大切な景観です。
⇒次に3人の通学路にある景観を見てみよう！



毎日歩いている通学路を思い出してみよう、
3人はどんな景観が頭にうかんだのかな？

3人それぞれの通学路



いつもお花がきれいにさいて
いていい気持ちになる。
だれが育てているんだろう...？



「ガタンゴトン...」
列車の音が心地よくてなんと
なく安心する...



どりい りっば
神社の鳥居が立派で
かっこいい...



この公園はいつもだれかが
たのしく遊んでいて自分もわく
わくしてくる...



ここを歩けばいつもパンの
焼いたいいにおいがする...



かわぞ かんぼん ごわ
川沿いの看板が壊れていて
見た目がちょっといや...

3人の頭のなかにうかんできた

わくわくする…

きれい…

心地いい…

安心する…

ちょっといや…

身近な景観はみんなが日々、このように感じ心に残^{のこ}っていきます。

景観はどこまでもつながっていて、歩いていてもさまざま変化^{へんか}していきます。

通学路を歩いていても、3人のように感じることは一つではなさざまあります。

みんなの通学路にある景観はこれからも心に残る、自分だけの大切な景観です。



みんなも、いつもはあまり気にしなくても、あらためて
思い出してみれば、頭の中にかぶ景観はきつとあるよ。

※スクールバスなどで学校へかよっているみんなは、バスから見える景観を思い出してみよう

まとめ

- ・いつも歩いている通学路でも、あらためて思い出してみれば心に残っている「**景観**」があったのではないだろうか。
- ・身近な場所でもそこしかない大切な「**景観**」です。
- ・「**景観**」はどこまでもつながっています。通学路などの身近な場所でもさまざま変化していき、感じる事もさまざまです。
- ・電車の音の心地よさ、お店からのおいしいパンがうかんできくる・・・

「**景観**」は見えるものだけでなく、五感で感じるものでもあります。